

## アンケート調査報告書

豊岡市障害者自立支援協議会せいかつ部会  
(喀痰吸引を検討するプロジェクトチーム)

## 〈アンケートの目的〉

豊岡市内の居宅介護支援専門員・相談支援専門員の「喀痰吸引等制度」についての意識調査とケアプラン等への位置づけの実態把握

## 〈アンケートの対象〉

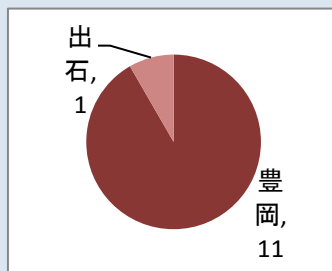
豊岡市ケアマネジャー連絡会議参加の居宅介護支援専門員(44名)  
豊岡市内の相談支援事業所の相談員(12名)

## 〈アンケート回答内容〉

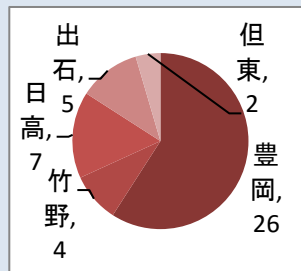
※アンケートの回答内容は原文のまま記載しております。

## 1. 事業所の所在地

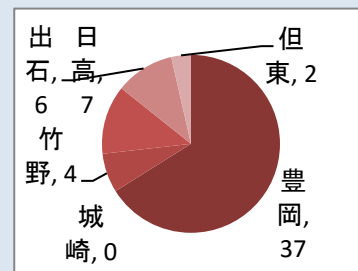
## 障害分野



## 介護保険分野

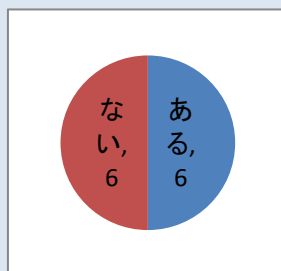


## 全体



## 2. 喀痰吸引・経管栄養を要する利用者の担当の経験について

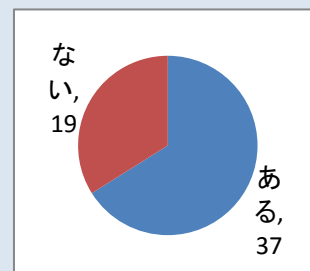
## 障害分野



## 介護保険分野



## 全体



## 3. 2において経験あると答えた方に対して、

## 1) 喀痰吸引・経管栄養の行為について家族をプランに位置づけることができるか

| 項目      | 障害分野 | 介護保険分野 | 全体 |
|---------|------|--------|----|
| 十分できる   | 3    | 10     | 13 |
| 不十分さはある | 1    | 19     | 20 |
| できない    | 0    | 2      | 2  |
| 無回答     | 2    | 0      | 2  |

## 2) プラン作成にあたり、家族・看護師以外に喀痰吸引・経管栄養の行為を位置づけたか

| 項目  | 障害分野 | 介護保険分野 | 全体 |
|-----|------|--------|----|
| ある  | 0    | 4      | 4  |
| ない  | 4    | 27     | 31 |
| 無回答 | 2    | 0      | 2  |

具体的に誰を位置づけたか(夫、息子、本人の兄妹、家族の兄妹)

### 3. 2において位置づけが不十分・できないと回答された理由について

(障害分野)

- ・地域の事業所が受け入れてくれなかった
- ・家族にて対応が可能であり、その他の位置づけが不要であった
- ・社会資源がない
- ・福祉サービス利用中は看護師が対応している
- ・実際できる見込みがあるか分からない

(介護保険分野)

- ・他に行える人がいなかった。
- ・家族看護師以外できない
- ・現在、家族や看護師以外は行為を依頼できず、家族がどうにかできる方であった
- ・施行できる能力があるかないかによっても位置づけが難しくなりサービス事業所に依頼してしまう
- ・家族以外にできる方はないと思っていた
- ・家族でさえ本人がしんどい吸引をしているため、それを介護職が行うのは抵抗がある
- ・ヘルパー対応できる事業所はない
- ・医療行為であるため、家族・看護師以外行えない
- ・急激に悪化し、訪問看護しか入れられなかった

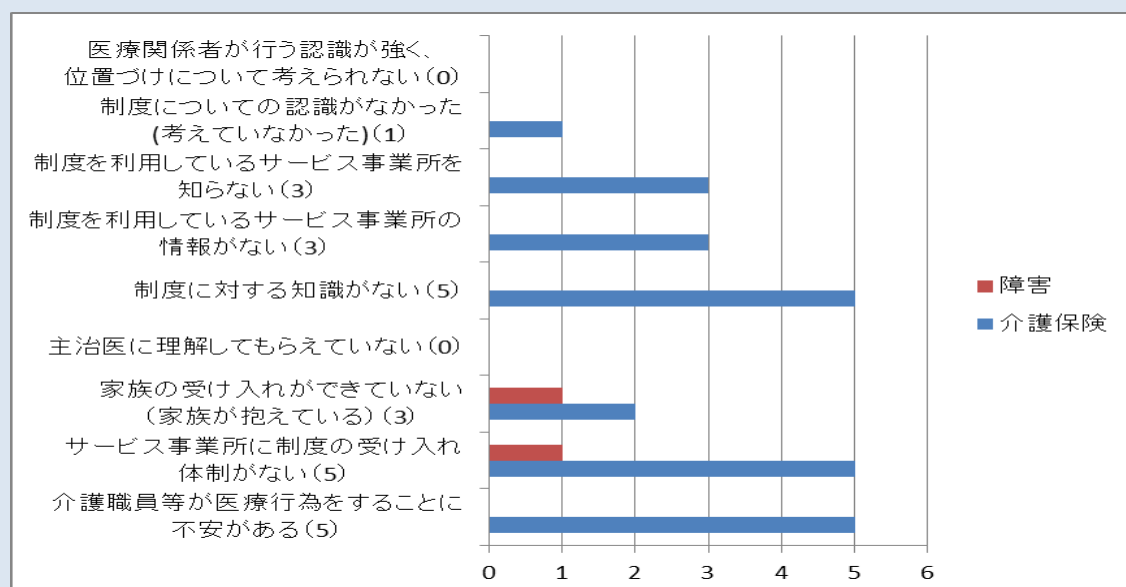
### 4. 喀痰吸引等制度」を知っているか

| 項目        | 障害分野 | 介護保険分野 | 全体 |
|-----------|------|--------|----|
| 良く知っている   | 1    | 6      | 7  |
| 何となく知っている | 8    | 30     | 38 |
| 初めて聞いた    | 1    | 7      | 8  |
| 無回答       | 2    | 1      | 3  |

### 5. 介護職員による喀痰吸引の位置づけを考えているか

| 項目     | 障害分野 | 介護保険分野 | 全体 |
|--------|------|--------|----|
| 考えている  | 4    | 26     | 30 |
| 考えていない | 5    | 13     | 18 |
| 無回答    | 3    | 5      | 8  |

### 6. 5で「考えていない」を選択したのはなぜか



7. 豊岡市の「喀痰吸引等制度」の現状を知りたいと思うか

| 項目        | 障害分野 | 介護保険分野 | 全体 |
|-----------|------|--------|----|
| 知りたい      | 8    | 37     | 45 |
| 特にどちらでもない | 1    | 6      | 7  |
| 知りたくない    | 0    | 0      | 0  |
| 無回答       | 3    | 1      | 4  |

8. 豊岡市の「喀痰吸引等制度」について、現状把握・情報共有の機会があれば参加を希望するか

| 項目    | 障害分野 | 介護保険分野 | 全体 |
|-------|------|--------|----|
| 希望する  | 9    | 34     | 43 |
| 希望しない | 0    | 6      | 6  |
| 無回答   | 3    | 4      | 7  |

9. その他に「喀痰吸引等制度」について思うこと

(障害分野)

・様々な“医療行為”の中で、どれが医療従事者のみが行うべきで、どれが研修を受けた介護者ができるものなのか境目が分からない。道具や機器の進歩により、人の技術や経験に頼らなくてもできることが増えていることもあるだろうと思う。

・他市町で対応したケース。日常的に喀痰吸引が必要な方。在宅にて高齢の母親が介護していたが、介護力が極めて低く、吸引もおざなり。そのため、体調悪化も著しく入退院の繰り返し。在宅児は訪看に週5日入ってもらっていた。地域の事業所に資格のあるヘルパーが2名いたが、たん吸引の支援提供を断られた。理由はケースを引き受けたら事業所の業務が回らなくなるから。ヘルパー不足で事業所に余裕がない現状において制度が先走りしているのか、とも感じる。

・重度の障害の方、医療的ケアの必要な方の生活がより充実し、選択肢の幅が広がる様に体制が整えられることを望みます。

(介護保険分野)

・受け入れる事業所がない。利用者毎の研修が必要であると聞いているので手間と介護職員の確保はやはり難しいと感じる。

・恥ずかしながら制度を知らない。情報を知って、利用者がより良い生活ができるように努めていきたい。

・重度で吸引・経管栄養の方の在宅生活者は今後も増えていくと思われることから介護従事者で資格を有する人が一人でも増えてほしい。研修を受けやすく充実すればいいと思う。

・頻回に吸引処置の必要な利用者を担当しています。家族が吸引処置をされていますが、喉の奥までチューブを差し込むことができず、一日二回の吸引のために訪問看護の訪問を受けている。夜間は一時間ごとに吸引をしており、家族はゆっくりと眠れず介護ストレスが溜まっています。吸引については、家族だけでは対応が難しくヘルパーが吸引処置ができると訪問看護の負担も少なく訪問回数も減らせます。ヘルパー訪問で対応できる対応策・対応を早急に願います。

・訪問看護員1人1人にしっかりと研修を受けて頂けたら介護職員OKだと思ふ。

・医療行為でリスクもあり、積極的に事業展開する事業所が少ないように感じます。居宅での利用までには必要なことが多く、利用に至っていない現状です。

・実際は受け入れている事業所がないのではないかと。受け入れる方が大変になるので、数も上がらないと思う。

・吸引については決められた時間に行うものではなく、必要な時にしてもらうことが難しいのではないかとと思うが、実際に必要だと思う。

・研修や指導を受けることが大変です。しかし、研修は本人に対しての許可が出ないと無理なので、行う方も人や時間がかかってしまいます。吸痰が必要な方も多くなっているので、何かと早急な吸引対策をしてほしいと思います。

在宅で生活するためには介護職の吸引が必要になっていると思います。

・医療の多い人はデイサービスでもショートでもサービス側から断られることが多いので気の毒です。(特にショート) サービス側も手一杯の中、重度の方を引き受けるのは気の毒です。手当があればいいのと思います。